

1. 活動の名称

野洲市内の河川環境を守る活動

2. 活動の概要

目的・目標	野洲市市内の主な川であり、市街地を流れる、祇王井川、中の池川、童子川の河川環境を地域で守り、魚やホタルなど水の生き物に親しめるよう、それらの河川のごみ回収、また、祇王井川については水の流れが年間通じて止まらず、そして水量も増え、水の流れ豊かな野洲になるように地域と協働を目指す。
活動エリア	野洲市内の主な河川、祇王井川、童子川、中の池川
活動時期	10月から5月にかけて、計7回、月一回程度

3. 取組内容

・祇王井川、中の池川、童子川の河川清掃では、駅前自治会、松陽台自治会含む祇王まちづくり推進協議会、五ノ里自治会など、また野洲病院、中国塗料、京セラ、オムロン、滋賀銀行、湖南病院など地域の事業所の皆さまとの協働でそれぞれの河川の中のごみを回収しています。時には腰までつかる深みや、背丈より高く伸びた葦などをかき分けの活動で、厳しい時もありますが、終了時に綺麗になったところを見ると嬉しくなります。これらの河川は野洲の山々の流れを集める家棟川に合流して琵琶湖に注いでおり、上流部でゴミを回収し、琵琶湖へのゴミ流入を減らすことにもつながっています。このような地域のみなさんと一緒に活動を継続することで、地域の交流も深まり「地域の環境は地域で守る」機運が高まることも期待しています。

・野洲の市街中心部を流れる祇王井川は、その昔、平清盛が白拍子「妓王」の願いで切り開いた野洲川からの農業用水路でした。現在は石部にある「頭首工」という野洲川の堰から取水されています。活動開始前までは、10月以降の非かんがい期は水量が少なく、また点検や工事などで流れが止まり、川の生き物が死ぬこともありました。そこで、流れが長期間継続して止まらないように水路管理者や、行政関係者に協力をお願いしたり、川の中に一時的に水のたまり場を作ったり、また水量を増やすべく、「頭首工」の非かんがい期の水利権について、実態を細かく調査して、その更新に反映していただくようにする活動も行っております。

活動の詳細：「滋賀咲く」ブログ <http://fieldworkkyasu.shiga-saku.net/>

・祇王まち協と協働の中の池川清掃 ・地域自治会、事業所と協働の童子川清掃 ・水の流れがない頃の祇王井川清掃



4. 今後の課題・将来像等

・祇王井川、中の池川、童子川、それぞれの地域の皆さんと協働での活動を続けていくことで、地域の環境への関心が高まり、また交流も増え「地域の環境は地域で守る」活動が定着し、野洲の河川はきれいでいいと言われるようになることを願っています。ゴミは目立たず、年間を通じ、きれいな流れが途絶えず、ビワマスなどの魚やホタルなど水や水辺の生き物に身近で親しめる、そんな野洲になること目指しています。

・野洲は昭和50年代の野洲川改修工事以前は、市内のあちこちで野洲川の伏流水が湧き出ている、きれいな水に恵まれたところでした。また野洲の市街地の大半は元は田んぼであったところが開発されたところで、住宅地のすぐそばでも小さな農業用水路があちこちに残っています。しかし、非かんがい期は殆ど流れがありません。石部頭首工からの取水は農業用が主目的ですが、非かんがい期も、まちなかでの水の流れがあるように活用できれば素晴らしいことだと思います。さらに活動の輪を広げてぜひ実現したく、一緒に活動いただけるメンバーを募集しています。意外と楽しいものです。

・活動のスケジュールは以下「滋賀咲く」ブログで参照できます。

<http://fieldworkyasu.shiga-saku.net/>

5. 連絡先等

連絡先：「フィールドワークやす」熊本 090-9010-5802
Email:kumamot3@yahoo.co.jp